

2014年度 センター試験 本試験 日本史 A

第1問 近代のマスメディア

出題範囲	近現代の政治・文化史
難易度	★★★☆☆
所要時間	5分
傾向と対策	2014年度の第1問は、近代～現代の文化史を中心に問う問題であった。正誤問題だけでなく、年代順配列問題も含まれる。特に近現代の文化史を苦手とする受験生は多いので、文化史からの出題に対応できるようになると他の受験生と差をつけられる得点源にできるだろう。日本史Aの範囲で問われる作品には政治や国内外の社会の動きと結び付いた作品も多いので、時代ごとに整理して理解しておこう。

問1 正解は④

難易度 ★★★☆☆

解説

ア みんせんぎいんせつりつのけんぱくしよ民撰議院設立建白書が入る。征韓論争を経て、げや明治六年の政変で下野した旧土佐藩出身のいたがきたいすけ板垣退助（1837-1919）、ごとうしやうじろ後藤象二郎（1838-97）、そえじまたねおみ旧肥前藩出身の副島種臣（1828-1905）、えとうしんべい江藤新平（1834-74）などが、藩閥政府の専制（ゆうしせんせい有司専制）に反対し、あいこくこうとう愛国公党を設立すると同時に左院に提出したものが民撰議院設立建白書である。これは自由民権運動が急速に高まるきっかけとなったが、政府は時期尚早として建白書を無視した。ちやくゆ国会開設の勅諭は、おおくましげのぶ明治十四年の政変でおおくましげのぶ大隈重信（1838-1922）らのひめん罷免が決定した後、政府が世論の政府批判を抑えようとして1890年に国会を開くこと公約したものである。

イ いしかわたつぞう生きてゐる兵隊が入る。近現代の戦争を描いた戦争文学の代表作とされる石川達三（1905-85）の『生きてゐる兵隊』は、日中戦争開戦後、日本軍のざんぎやく残虐な側面を描いているとして発禁処分かにこうせんにされた。『蟹工船』は、こばやし たきじ小林多喜二（1903-33）が著したプロレタリア文学の代表作である。

以上より、ア - 民選議院設立建白書、イ - 生きてゐる兵隊の組み合わせとなる④が正解である。

◆参考 昭和の文学とその潮流

昭和時代には、社会主義と結び付いたプロレタリア文学や文学の実体を求めようとした川端康成（1899-1972）らの新感覚派がおもに流行していた。1930年代には、政府による厳しい言論統制や国家主義の流行のなかで、共産主義から保守主義・国家主義への転向が相次ぎ、マルクス主義などの社会主義の影響も衰えた。また日中戦争期になると、近現代の戦争を描いた戦争文学が人気を博す一方で、国体論やナチズムなどの影響を受けた全体主義的思想が主流となった。

◆文芸評論

雑誌『日本浪漫派』などで、反近代と民族主義を掲げた。

やすだ よじゅうろう 保田与重郎 (1910-81)	『日本浪漫派』	ロマンチズムに始まり、日本主義・民族主義に傾倒し、日本ファシズムに同調した。
-------------------------------	---------	--

◆プロレタリア文学

無産階級である労働者や農民の現実を描いた文学であり、第一次世界大戦後の階級対立が激化した時期に社会運動と結び付いて流行した。

はやまよしき 葉山嘉樹 (1894-1945)	『海に生きる人々』	室蘭・横浜間を往復し、石炭を運ぶ貨物船での船員の苦難と闘争を描く。
小林多喜二 (1903-33)	『蟹工船』	カムチャツカで蟹を捕り、加工する蟹工船の船員の姿を描く。
徳永 直 <small>すなお</small> (1899-1958)	『太陽のない街』	筆者が実際に体験した、小石川の印刷所で起こった共同印刷争議を題材にしている。

◆新感覚派

自然主義的リアリズムに反発し、モダニズムの洗練された感覚を基調とした現実の把握と技巧的な文体によって表現の改革を試みた。

横光利一 (1898-1947)	『日輪』	邪馬台国の女王卑弥呼を日輪に見立てて、周辺国の王子たちが倒れる有様を描いている。
川端康成 (1899-1972)	『伊豆の踊子』	悩みを抱え伊豆半島を旅する学生が、踊り子と出会い、救われる過程を描いた青春文学。

◆戦争文学

近現代の戦争を題材とした文学であり、その性質から国策文学として奨励され、戦争遂行のための手段とされることもあった。

火野葦平 (1907-60)	『麦と兵隊』	筆者が、日中戦争で苦戦した徐州作戦に軍の報道班員として参加し、その見聞を実感を込めて描いた。
石川達三 (1905-85)	『生きてゐる兵隊』	日本軍の兵士の様子を写実的に描いた作品であるが、日本軍の残虐行為の描写があり、発禁処分となった。

問 2 2 正解は②

難易度 ★★★★★☆

解説

- X 正 『万朝報』は、黒岩^{くろいわるいこう}涙香^{なみか}（1862-1920）が東京で創刊^{そうかん}し、論説の分野で最有力紙となった。日露戦争以前は、幸徳秋水（1871-1911）や堺利彦（1870-1933）らが展開した非戦・反戦論が注目を集めていた。しかし黒岩が開戦論を支持し始めると、両者は万朝報を退社し、平民社を立ち上げて戦争反対を主張し続けた。
- Y 誤 1900年に義務教育の授業料が廃止されたことなどを背景に、就学率は1902年には90%を超えていた。
- 以上より、X-正、Y-誤の組み合わせになる②が正解である。

問 3 3 正解は⑥

難易度 ★★★★★☆

解説

- I この史料はアジア初のオリンピック開催となった第18回オリンピック東京大会（東京オリンピック）を報じるものであり、1964年、すなわち第二次世界大戦後のものであるとわかる。
- II 史料に「満州国選手入場」と記されていることから、この史料は少なくとも満州国が存在していた1932-45年、すなわち満州国成立後から終戦までの時期のものであると判断できる。
- III 「若槻首相を迎えて」という記載より、この史料は若槻^{わかつきい}礼次郎^{れいじろう}内閣期（第1次：1926-27、第2次：1931）のものであることがわかる。

以上より、年代順にIII（若槻礼次郎内閣期）→II（満州国成立～終戦）→I（戦後）の配列となる⑥が正解である。

（制作：梶山真嗣，釈迦戸雅史）

2014 年度 センター試験 本試験 日本史 A

第 2 問 近世後期から明治初期の政治・社会

出題範囲	近世・近代の政治・社会史
難易度	★★★☆☆
所要時間	9分
傾向と対策	2014年度の第2問は、近世後期～明治初期にかけての政治・社会を問う出題であった。政治史に関する出題においては、年代・時系列を覚えることが得点に直結する。教科書を読む際に年代・時系列も同時に覚えてしまおう。

A

問1 4 正解は②

難易度 ★★★☆☆

解説

ア シーボルト (1796-1866) が入る。文政期、オランダ商館医であったシーボルトは長崎郊外に鳴滝塾を開き医学を教授した。しかし、帰国の際に持ち出し禁止の日本地図を持っていたため国外追放処分を受けたが、帰国後はヨーロッパにおいて日本研究の第一人者となった。ケンペル (1651-1716) も17世紀にオランダ商館医として来日した人物であるが、問題文の時代条件 (開国後の日本) に合致しないので不適である。

イ 台場が入る。台場は、大砲を据え付ける砲台のこと。そのうち品川台場はペリー来航をきっかけに国防を充実させる必要に迫られ江戸湾に築かれた。鎮台は、明治初期に全国4カ所に設置された常備陸軍である。1888年に師団に改組された。

以上より、ア-シーボルト、イ-台場の組み合わせとなる②が正解である。

◆参考 江戸時代の国学と蘭学

○国学 (日本の古典を研究し、儒教や仏教などの外来思想が渡来する以前の日本古来の思想を明らかにしようとする学問)

・17世紀後半

契沖 (1640-1701) : 多くの古典の校訂を行い、近世国学の基礎を築いた。主著『万葉代匠記』。

・18世紀前半

荷田春満 (1669-1736) : 契沖の主著を学び、古典・国史を研究した。

賀茂真淵 (1697-1769) : 荷田春満の弟子で、『万葉集』『古事記』の研究を行った。主著『万葉考』 (万葉集の注釈書)。

・ 18 世紀後半

もとおりのぶなが
本居宣長 (1730-1801) : 賀茂真淵に入門して古道研究を志し、のちに国学の完成者となった。「もののはれ」を指摘した。主著『源氏物語玉の小櫛』(源氏物語の注釈書), 『古事記伝』(古事記の注釈書)。

・ 19 世紀前半

ひら た あつたね
平田篤胤 (1776-1843) : 本居宣長の書に啓発され国学を志し、復古神道を体系化した。民間の国学者として農村で広く信奉され、尊王攘夷運動にも大きな影響を与えた。

○ **蘭学** (鎖国政策のもとヨーロッパの学術研究は制限されていた中で、オランダ語を通じて学ばれた学術の総称。のちには洋学と呼ばれた)

・ 18 世紀前半

あお き こんよう
青木昆陽 (1698-1769) : 8 代将軍 とくがわよしむね **徳川吉宗** の命令で蘭学を学んだだけでなく、かんしよ **甘藷 (サツマイモ)** の栽培法を著した。

・ 18 世紀後半

すぎ た げんぱく
杉田玄白 (1733-1817) : 死刑囚の解剖の見学をきっかけに『解体新書』を訳述し、その苦心談を回顧録『らんがくことはじめ **蘭学事始**』として著した。

まえ の りょうたく
前野良沢 (1723-1803) : **青木昆陽** に蘭学を学び、**杉田玄白** とともに『解体新書』を訳述した。

ひら が げんない
平賀源内 (1728-79) : 蘭学の研究で得た知識の実用化を試み、エレキテル (摩擦発電機) などを自作した。

・ 19 世紀前半

い の うただたか
伊能忠敬 (1745-1818) : 地理学者であり、幕府の命令で日本全国を測量して **日本初の実測地図** 「**大日本沿海輿地全図**」を作成した。

シーボルト (1796-1866) : **鳴滝塾** で医学を教授したが、帰国の際に **シーボルト事件** を起こし **国外追放** となった。帰国後に『**日本**』を著した。門下に たかの ちようえい **高野長英** (1804-50) がいる。

お がた こうあん
緒方洪庵 (1810-63) : 大坂・江戸・長崎で学んだあと、大坂で てきじゆく **適塾** を開いた蘭医であり、ふくざわ ゆ **福沢諭吉** (1834-1901) お おむらます じろう **大村益次郎** (1824-69) はしもと きない **橋本佐内** (1834-59) など国家有為の人材を多く輩出した。

問 2 5 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

I 1863 年に起きた長州藩の外国船砲撃事件に対する報復のため、1864 年、英・仏・米・蘭の四国連合艦隊が

下関を砲撃し、砲台などが占領された（四国艦隊下関砲撃事件）。この結果、長州藩は攘夷を諦め、開国を主張する勢力が台頭した。

- II イギリスの軍艦フェートン号が、1808年に長崎に侵入し、オランダ商館員を捕えて人質にして、薪水・食糧を要求した（フェートン号事件）。
- III アメリカの東インド艦隊司令長官であるビッドル(1783-1848)が、1846年に浦賀に来航し、通商を求めた。しかし、幕府は鎖国を理由にこれを拒否した。

以上より、年代順に正しく配列すると、II（1808年）→III（1846年）→I（1864年）の組み合わせとなる④が正解である。

問3 6 正解は③

難易度 ★★★★★☆

解説

X **誤** じょうちれい(あげちれい)みずのただくに 上知令は、ふだいだいみょう はたもと 水野忠邦（1794-1851）が天保の改革の一環として幕府を政治・経済的に建てなおすために江戸、大坂周辺の大名・旗本の知行他を没収し、幕府直轄領にしようとした法令である。しかし、かえち 替地を命じられた譜代大名や旗本の反対により失敗に終わった。

Y **正** 1868年、江戸が東京と改められた。その翌年、**明治天皇（位 1867-1912）も東京に移り**、実質的に遷都された。

以上より、X - 誤、Y - 正の組み合わせになる③が正解である。

B

問4 7 正解は④

難易度 ★★★★★☆

解説

ウ **徳川齊昭**が入る。なりあき 水戸藩主のみ と はんしゅ 徳川齊昭（1800-60）は改革派の人材を登用し、藩政改革を行った。また、幕政に関してはそののうじょう いろん 尊王攘夷論を唱え、けいし 將軍継嗣問題においては**一橋派**として活動した。いえさだ 徳川家定（在任 1853-58）は、病弱で子がなく、將軍継嗣問題の原因となった13代將軍である。

エ **大政奉還**が入る。大政奉還は、1867年10月に15代將軍よしのぶ 徳川慶喜（在任 1866-67）が**政権を朝廷に返上**した政治事件である。その後、これに対抗して、薩長の武力討幕派によって天皇中心の新政府樹立を目指す**王政復古の**せいふく こ **大号令**が1867年12月に発表された。はんせきほうかん **版籍奉還**は、木戸孝允（1833-77）・大久保利通（1830-78）らの画策によって1869年に**諸藩主が領地（版）と領民（籍）を天皇に返還した改革**である。

以上より、ウ - 徳川齊昭、エ - 大政奉還の組み合わせとなる④が正解である。

問 5 8 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

- X a ^{さいごうたかもり}西郷隆盛 (1827-77) や ^{おおく ほとしみち}大久保利通 (1830-78) は ^{さつ ま}薩摩藩 (鹿児島県) 出身者である。
- Y c ^{まつだいらかたもり}松平容保 (1835-93) は ^{あいづ}会津藩 (福島県) 主である。b は ^{さかもとりようま}坂本龍馬 (1835-67), ^{ごとうしょうじろう}後藤象二郎 (1838-97) を輩出した土佐藩 (高知県) を指している。d は江戸時代, 蝦夷地との交易を担っていた ^{まつまえ}松前藩 (北海道) を指している。

以上より X - a, Y - d の組み合わせになる①が正解である。

問 6 9 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 ^{こごしょ}小御所会議では, 将軍を含めた雄藩連合政権の樹立を主張する土佐藩主・山内豊信 (1827-72) から ^{こうぎ}公議政体派を退け, ^{じかんのうち}辞官納地 (^{ないだいじん}徳川慶喜の内大臣辞任と ^{はいはん ちけん}領地の一部返納) を決定した。1871 年の ^{はいはん ちけん}廃藩置県で「藩を廃止して, 新たに府と県を置くことが決定された」のである。
- ② 誤 1868 年に発布された ^{せいもん}五箇条の誓文では, 「攘夷鎖国」ではなく, ^{こうぎ よろん}公議世論の尊重と ^{せいとう ぼ}開国和親の方針が示された。
- ③ 正 1871 年に (身分) 解放令が出され, ^{えた}えた・非人の呼称を廃止し, 身分・職業共に ^{へいみん どうよう}平民同様となった。しかし, その後もあらゆる面での差別はなくならなかった。
- ④ 誤 ^{き へいたい}奇兵隊は, ^{たかすぎしんさく}高杉晋作 (1839-67) が ^{せいとう ぼ}長州藩の正規の兵以外で組織した軍隊である。第二次長州征討や ^{しん}戊辰戦争で討幕軍の主力として活躍した。

以上より, 正解は③である。

(制作：梶山真嗣, 帆玉光輝)

2014年度 センター試験 本試験 日本史 A

第3問 明治期の租税制度

出題範囲	近代の社会・外交史
難易度	★★☆☆☆
所要時間	6分
傾向と対策	2014年度の第3問は、明治期の租税制度の変遷をベースにして、近代の税制度や外交関係の基本的理解ができているかを問う問題であった。明治新政府の政策、諸外国との条約改正の流れはセンター試験で頻出のテーマである。これらの内容は、センター試験において細かな部分まで問われるので、条約改正に至るまでの外交担当者、内容、結果は正確に覚えることが重要であると言えよう。また、明治新政府の中心人物、取った政策、その影響も整理しておくといだろう。

問1 **10** 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

ア **地券**が入る。明治政府が**従来の年貢負担者に地券を発行し、土地所有者（＝納税者）を明確にした**ことで、封建的領有制は解体した。これにもとづき、**1873**年には地価の3%にあたる地租を金納することを定めた**地租改正条例**が公布された。**太政官札**は**1868**年に明治政府が初めて発行した不換紙幣である。同年に始まった**戊辰戦争**の戦費調達などに用いられた。

イ **松方正義**（1835-1924）が入る。**1881**年の**明治十四年の政変**でそれまで財政を牽引してきた**大隈重信**が下野すると、松方が**大蔵卿**に就任した。松方は、1881年から85年にかけて**松方財政**と呼ばれる大規模デフレ政策を実施して**銀本位制の確立に成功した**。**江藤新平**（1834-74）は、新政府の一員として司法の整備に尽力した佐賀出身の政治家である。江藤は**1873**年、**明治6年の政変**で下野したのち、**佐賀の乱**を理由に新政府によって処刑された。

以上より、正解は④である。

問2 **11** 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

X **b** **1886**年に紀伊半島沖で貨物船ノルマントン号が難破した。この際、船長を含む英人乗組員は全員救出されたものの、日本人船客は救出されず全員溺死した。しかしその後の海難審判で、英人領事によって出された判決は船長に禁錮3カ月を科すのみという軽いものだったため、日本国内では不平等条約に対する反感が強まった（**ノルマントン号事件**）。当時外務大臣だった**井上馨**（1835-1915）による条約改正交渉は、こ

の事件と井上の極端な欧化主義政策に対する反感によって頓挫した。伊藤博文（1841-1909）は外務大臣の経験がない。

Y d 日英通商航海条約は、1894年陸奥宗光（1844-97）が外務大臣を務めていた時期に調印された。この条約は領事裁判権の撤廃や、関税自主権が一部日本に認められるなどの内容を含み、不平等条約の改正に日本が初めて成功した事例となっている。この背景には、ロシアの極東進出を恐れたイギリスが、進出を阻止するため、日本を利用しようとしたことがある。一方、寺島宗則（1832-93）は1870年代後半、樺太・千島交換条約の締結などにあたった外務卿である。寺島も関税自主権の回復を目指した条約改正交渉を行ったが、実現しなかった。

以上より、X - bとY - dの組み合わせになる④が正解である。

問3 12 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

- a 正 1877年、前年の大規模な地租改正反対一揆を受けて、地租が地価の3%から2.5%まで引き下げられた。
- b 誤 地租改正では、税収の安定を図って課税基準が収穫量から地価となった。
- c 正 入会地は所有者が明確でなかったため、地券は発行されず官有地に編入された。このことは農民から大きな反発を受ける一因となった。
- d 誤 物納（米納）では保存が難しく、ならびに米価は不安定なため金納に変更された。

以上より、aとcの組み合わせになる①が正解である。

問4 13 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

- X 誤 租税収入に占める酒税の比率が初めて地租を超えたのは、表より1900年度だとわかる。日露戦争は1904年に勃発したので、日露戦争後に租税収入における酒税の割合が地租の割合を上回ったというのは誤りである。
- Y 誤 租税収入に占める関税の比率が初めて10%を超えたのは、表より1900年度のことだとわかる。関税自主権の完全回復は小村寿太郎（1855-1911）によって1911年になされたので、この記述は誤りである。

以上より、X - 誤、Y - 誤の組み合わせになる④が正解である。

（制作：帆玉光輝，梶山真嗣）

2014 年度 センター試験 本試験 日本史 A

第 4 問 明治期の宗教と社会

出題範囲	近代の社会・文化史
難易度	★★★★☆
所要時間	7分
傾向と対策	2014年度の第4問は、明治期の文化史を中心とした設問である。学校に関する法令や文学作品に関する問題は頻繁に出題されるので、特に理解を深めておいてほしい。この大問は、文化史に加え、年代順配列問題があるため、少し難しいように思われる。基本事項を問う問題で、確実に得点しておきたい。

A

問1 14 正解は④

問題文 ★★★★★☆

解説

- ア ヘボンが入る。ヘボン（1815-1911）は、日本初の和英辞典『和英語林集成』を1867年に出版した。また、ヘボン式ローマ字を考案して、聖書の和訳に尽力した。コンドル（1852-1920）は、^{たつの きんご}辰野金吾（1854-1919）・^{かたやまとくま}片山東熊（1854-1917）ら建築家を育成し、^{ろくめいかん}鹿鳴館などを設計したイギリス人建築家である。
- イ ^{うらかみ}浦上が入る。明治時代初期、政府は、キリスト教への信仰を表明した浦上のキリシタンを捕えて、流罪にした（^{うらかみしんとだんあつじけん}浦上信徒弾圧事件）。一方、^{とら}出島は、治外法権が認められた外国人居留地に近い形態の場所であるので、明治政府がそこに住む外国人信徒に改宗を強要するのは合わないと考えるのが妥当である。
- 以上より、ア－ヘボン、イ－浦上の組み合わせになる④が正解である。

問2 15 正解は③

問題文 ★★★★★☆

解説

- ① 誤 ^{もりありのり}森有礼（1847-89）は、第1次伊藤博文内閣（1885-88）期に^{もんぶ だいいじん}文部大臣を務めた人物である。1886年、小学校から大学までの学校体系を整備した諸法令を公布し、それらはまとめて**学校令**と呼ばれた。**大学令**は1918年に^{はらたかし}原敬内閣（1918-1921）が定めた**大学に関する基本制度**である。
- ② 誤 小学校の教科書について、学校制度が始まった当初は検定教科書制（民間で執筆された教科書を文部省が検定し、合格したものを教科書として用いる形式）であった。1902年の教科書疑獄事件をきっかけに国定教科書制（文部省が作成した教科書を用いる形式）へと移行した。
- ③ 正 明治10年代に**コレラ**の流行が頻発し、患者の隔離政策や警察の取り締まりに対して反抗するコレラー

揆も発生した。

- ④ 誤 **北里柴三郎** (1852-1931) は、ドイツから帰国後、**伝染病研究所** 所長となり、1894 年に香港で **ペスト菌** を発見した。**赤痢菌** を発見したのは、伝染病研究所の **志賀潔** (1870-1957) である。

以上より、正解は③である。

問 3 16 正解は②

問題文 ★★★☆☆

解説

- ① 正 **中江兆民** (1847-1901) は、ルソー (1712-78) の『**社会契約論**』を抄訳した『**民約訳解**』を刊行して、**人民主権説**を紹介した。
- ② 誤 日本初の社会主義政党は、1901 年に結成された **社会民主党** である。**治安警察法** の適用を受け、2 日後に結社を禁止された。**社会大衆党** は、1932 年に社会民衆党と全国労農大衆党が合同して結成された、合法的な無産政党である。
- ③ 正 治安警察法は、1900 年、第 2 次山県内閣 (1898-1900) 期に、**社会主義・労働運動・農民運動への弾圧を強化する** ために制定された。
- ④ 正 **人間社会をありのままに描く自然主義** は、明治 30 年代に流行し始めた。**島崎藤村** (1872-1943) の『**破戒**』、**田山花袋** (1871-1930) の『**蒲団**』などの作品が代表例である。

以上より、正解は②である。

B

問 4 ★★★☆☆ 17 正解は②

解説

- ウ **神仏分離** が入る。1868 年、政府は王政復古・祭政一致の観点から神仏習合を禁止して **神仏分離令** を布告した。これを機に、仏教を排斥しようとする運動が高まり、多くの寺院や仏像が攻撃された (**廃仏毀釈**)。
- エ **政教社** が入る。政教社は、1888 年、**三宅雪嶺** (1860-1945)、**志賀重昂** (1863-1927)、**杉浦重剛** (1855-1924) らにより設立された思想結社である。彼らは政府の過度な欧化政策を批判し、**国粹保存主義** を唱えた。雑誌『日本人』を刊行した **明六社** は、**森有礼** (1847-89) を中心に、**福沢諭吉** (1834-1901) や **西周** (1829-97) など明治期の思想家らによって発足された啓蒙的思想団体である。『**明六雑誌**』の出版を通して、西洋思想の紹介に貢献した。

以上より、ウ - 神仏分離、エ - 政教社の組み合わせとなる②が正解である。

問 5 18 正解は⑥

問題文 ★★★☆☆

解説

- I 4 次に渡る^{にちろ きょうやく}日露協約が結ばれたのは、1907 年から 1916 年にかけてである。日露戦争後、日本はロシアやイギリスに接近し、安定した外交関係を築いた。
- II ^{にちえいどうめい}日英同盟が結ばれたのは、1902 年である。大陸における利益線の確保を目指す日本と、大陸に多くの権益を持つイギリスの利害が合致し、協約の締結に至った。
- III ^{てんしんじょうやく}天津条約が結ばれたのは、1885 年である。日清関係を悪化させた甲申事変への反省から、日清両軍が朝鮮から撤退すること、以後朝鮮に出兵する際には事前通告することなどが定められた。

年代順に III（甲申事変後）→ II（日清戦争後）→ I（日露戦争後）の組み合わせになる⑥が正解である。

（制作：梶山真嗣，久米光仁）

2014 年度 センター試験 本試験 日本史 A

第 5 問 手塚治虫と日本の近現代

出題範囲	近代史
難易度	★★★★☆
所要時間	10分
傾向と対策	2014 年度第 5 問は、手塚治虫 <small>てづかおさむ</small> にまつわる問題が出題された。センター試験の第 5 問と第 6 問は、このような特定の人物にまつわる出題が増える傾向にある。このような問題はその人物に関する内容から派生して、あらゆる分野から出題され得る。特に C で出題されているような現代史は多くの受験生が苦手とするが、センター試験ではほぼ毎年 2～3 問程度出題されている。多くの受験生が対策しきれていない分野なので、必ず学習を進めておこう。

A

問 1 **19** 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- X 正 第一次世界大戦後、工業化と都市化が進展したことで、女性の社会進出が進み、電話交換手やバス車掌、タイピストなどを務める職業婦人が増加した。これは女性の経済的地位の向上を促した。
- Y 正 1930 年に昭和恐慌が起こると、生糸・繭価、米価が下がり農村はとりわけ大きな打撃を受けた。また、1931 年は東北地方を中心に凶作となり、貧窮した農村では娘の身売りや欠食児童が続出し社会問題となった。以上より、X - 正、Y - 正の組み合わせになる①が正解である。

問 2 **20** 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- a 正 当時（1928 年）の内閣は、立憲政友会の田中義一たなかぎいち内閣（1927-29）である。田中内閣は普通選挙制による最初の総選挙で無産政党から 8 名が当選し、日本共産党が公然と活動し始めたことに衝撃を受け、同年に治安維持法を改正して最高刑を死刑・無期刑としたほか、特高（特別高等警察）を全国の警察に設置した。また、三・一五事件や四・一六事件によって共産党員の大検挙を行った。
- b 誤 田中内閣が全国に設置したのは特別高等警察である。警察予備隊は 1950 年に朝鮮戦争勃発に伴って創設された戦後初の武装部隊である。
- c 正 a の解説のとおり普通選挙法改正後の 1928 年、普通選挙制による初の総選挙で無産政党が 8 議席獲得した。

d 誤 1925 年の選挙法改正では満 25 歳以上の男子に選挙権が与えられた。満 20 歳以上の男女に選挙権が付加されるのは 1945 年のことである。

以上より、a と c の組み合わせになる①が正解である。

問 3 21 正解は②

難易度 ★★★★★☆

解説

- ① 誤 モラトリアムとは、債務の不履行による金融上の混乱を防止するため、政府が法令により銀行預金などのすべての債務支払いを一定期間猶予する措置のことである。金融恐慌は 1927 年に始まり、同年に田中義一内閣がモラトリアムを実施したことで収束した。
- ② 正 鈴木商店は大戦中に台湾銀行からの融資に支えられて急成長したが、戦後不況や震災恐慌によって経営が悪化し金融恐慌で破綻した。当時の若槻礼次郎^{わかつきれいじろう}内閣（1926-27）は、巨額の不良債権を抱えた台湾銀行を緊急勅令によって救済しようとしたが、枢密院の協力を得られず総辞職した。
- ③ 誤 1927 年、片岡直温^{かたおかなおほる}蔵相（1859-1934）の「現に今日正午頃に於て渡辺銀行が到頭破綻を致しました」という失言によって、東京渡辺銀行を筆頭として取り付け騒ぎが起こり、金融恐慌が始まった。
- ④ 誤 浜口雄幸^{はまぐちおさち}内閣（1929-31）が 1930 年に旧平価による金解禁を断行したことで国内経済に極度のデフレーション^{しょうかいせき}がもたらされた。さらに、当時起こっていた世界恐慌の影響も相まって昭和恐慌と呼ばれる深刻な恐慌状態になった。

以上より、正解は②である。

B

問 4 22 正解は③

難易度 ★★★★★☆

解説

- I F.ローズベルト（米、1882-1945）、チャーチル（英、1874-1965）、蒋介石^{しょうかいせき}（中、1887-1975）により、1943 年 11 月に開かれたカイロ会談では対日戦略と戦後処理に関して話し合われ、その内容はカイロ宣言として明示された。
- II 1942 年 6 月のミッドウェー海戦で日本海軍は大敗北を喫し、この戦いによって攻勢が逆転した。
- III 1945 年 8 月 6 日に広島、9 日に長崎と相次いで原子爆弾が投下された。

以上より、年代順に II（1942 年）→ I（1943 年）→ III（1945 年）になる組み合わせの③が正解である。

問 5 23 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- ① 正 ^{あいかわよしすけ}鮎川義介が結成した日産コンツェルンは、満鉄に変わって満州の重化学工業を独占支配した。一方、^の野口^{ぐちしたがう}遵は日本窒素肥料会社を基盤に朝鮮北部に水力発電所や化学コンビナートを建設して、^{にっちつ}日窒コンツェルンを形成した。
- ② 正 企画院は、日中戦争下の 1937 年に設置され、戦時統制経済の計画立案などを担い、物資動員において中心的な役割を果たした。しかし、陸海軍対立緩和の行きづまりや経済界からの強い反発のために、1943 年、新設の軍需省に吸収された。
- ③ 誤 1930 年代半ばから労働組合は、産業報国会（総力戦への協力のために警察の指導下で工場・職場ごとに結成された労働組織）に漸次^{ぜんじ}吸収されていった。1940 年にはこれらが労資一体の大日本産業報国会に結集され、すべての労組はここに解散となった。日本労働組合総評議会（総評）は、1950 年に GHQ の支援によって結成された労働組合の全国組織である。
- ④ 正 日本は、1940 年 6 月にフランス軍がドイツ軍に降伏したことを受けて 9 月に北部仏印（仏領インドシナ）へ進駐、1941 年 7 月には南部仏印へ進駐した。アメリカは、これに対して対日石油の禁輸を決定するなどの厳しい制裁を行った。
- 以上より、正解は③である。

C

問 6 24 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

- ア 人間宣言が入る。1946 年 1 月 1 日、昭和天皇（在位 1926-89）は「天皇を以て現御神^{あきつみかみ}とし、且日本国民を以て他の民族に優越せる民族にして…架空なる観念に基く」という内容の詔書を発表し、自らの神格化と日本民族の優越性を否定した。
- イ 公職追放が入る。GHQ は 1946 年 1 月に戦争協力者・国家主義者を公職から追放した。政・財・言論界まで徹底して行われ、1948 年までに 20 万人以上が追放された。^{はとやまいちろう}鳩山一郎（1883-1959）や^{きしのぶすけ}岸信介（1896-1987）も追放者のひとりである。また、1950 年の朝鮮戦争勃発直前からは、軍国主義者の公職追放が徐々に解除されるのと並行して、GHQ はレッド＝パーズと呼ばれる共産主義者の公職追放を行った。
- 以上より、語句の組み合わせがア－人間宣言、イ－公職追放となる②が正解である。

問 7 **25** 正解は④

難易度 ★★★★★☆

解説

- ① 正 日本は、1963 年に **GATT11 条国**（国際収支を理由に輸入制限できない国）へ、1964 年には **IMF8 条国**（国際収支を理由に為替管理できない国）へ**移行**し、為替と資本の自由化を実現した。
- ② 正 日本は**高度経済成長**によって、1968 年に国民総生産（GNP）は資本主義諸国の中でアメリカに次ぐ**第 2 位**となった。
- ③ 正 1950 年代より石炭から石油への**エネルギー革命**が起こった。これに伴い全国の炭鉱では閉山が相次ぎ、1960 年には三井鉱山三池炭鉱^{みいけ}で労働者の大量解雇に反対する**三池争議**が起こった。
- ④ 誤 1950 年代には、大量消費社会に支えられ、家電製品が急速に普及した。その中でも**白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫**は「**三種の神器**」と称された。また、1960 年代後半からは自動車（Car）・カラーテレビ（ColorTV）・クーラー（Cooler）の「**新三種の神器**」、通称「**3C**」も普及率が急上昇した。
- 以上より、正解は④である。

問 8 **26** 正解は③

難易度 ★★★★★☆

解説

- ① 誤 **日本学術会議**は 1949 年に**設立**された、選挙により選ばれた諸分野の科学者を会員とする機関である。一方、**ベトナム戦争**は 1961 年から 73 年まで続いた。
- ② 誤 公害などの高度経済成長による社会問題が深刻化する中で、1967 年に東京都知事となった**美濃部 亮吉**^{みのの べりようきち}（美濃部達吉の長男）（1904-84）を皮切りとして、1970 年代初めに大都市圏で次々と**革新首長**が誕生した。革新自治体は**公害対策や福祉政策に力を注いだ**が、70 年代後半には財政難により退潮していった。
- ③ 正 1954 年、アメリカの水爆実験により**第五福 竜丸**^{だいごふくりゅうまる}が被ばくしたことを契機に、**原水爆禁止運動**が**急速に拡大**し、同 55 年には広島で第 1 回原水爆禁止世界大会が開かれた。
- ④ 誤 **水俣病**^{みなまた}・**新潟水俣病**・**四日市ぜんそく**・**イタイイタイ病**の四大公害訴訟は、1973 年までに**いずれも被害者側（原告側）が勝訴**した。
- 以上より、正解は③である。

（制作：帆玉光輝，久米光仁）

2014年度 センター試験 本試験 日本史 A

第6問 1920年代以降の日本の政治・外交

出題範囲	近代の政治・文化史
難易度	★★★★☆
所要時間	12分
傾向と対策	2014年度の第6問では、大正時代から現代にかけての日本の外交を中心に広い分野から出題されている。近現代の外交を扱う問題では、近世以前の日本外交と比較してより複雑な国際情勢についての理解が必要となる。時代ごとの欧米諸国・近隣諸国の個別的な状況や諸外国の友好・敵対関係の変遷、またそれらに対する日本側の外交的なはたらきかけなどを整理して覚えることでより深い理解が可能となるだろう。

A

問1 27 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- ア **幣原喜重郎** (1872-1951) が入る。幣原喜重郎は、第1次**若槻礼次郎**内閣 (1926-27) と第2次若槻礼次郎内閣 (1931) で外相を務め、**協調外交**を推進した。一方、**広田弘毅** (1878-1948) は、**斎藤実**内閣 (1932-34)、**岡田啓介**内閣 (1934-36)、第1次**近衛文麿**内閣 (1937-39) で外相を務めた人物である。1936年の**二・二六事件**で**岡田啓介**内閣 (1934-36) が総辞職した後には首相も務めている (広田弘毅内閣, 1936-37)。
- イ **五・一五事件**が入る。1932年の五・一五事件では、当時**立憲政友会**を基盤とする内閣で首相を務めていた**犬養毅** (1855-1932) が射殺された。この後、岡田啓介を首相とする**挙国一致内閣**が成立し、1924年の**加藤高明**内閣 (1924-26) に始まる政党内閣の慣例、いわゆる「**憲政の常道**」は終わりを迎えた。**虎の門事件**とは、1923年、**裕仁親王** (のちの昭和天皇, 1901-89) が無政府主義者の**難波大助**により狙撃された事件である。この事件は第2次**山本権兵衛**内閣 (1923-24) が総辞職する要因となった。
- 以上より、ア - 幣原喜重郎、イ - 五・一五事件の組み合わせとなる①が正解である。

問2 28 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- X 正 1922年に調印された**ワシントン海軍軍縮条約**では、米・英・日・仏・伊の5カ国間で**主力艦**の総トン数比率が5:5:3:1.67:1.67と規定された。また、**主力艦の建造が10年間禁止された**。

Y 正 1930 年に調印された**ロンドン海軍軍縮条約**では、英・米・日の 3 カ国間の補助艦の総保有量がほぼ 10 : 10 : 7 と決定され、主力艦の建造停止期間も 1936 年まで延長された。締結の際には、**野党や海軍の一部**などから、この条約への調印は**天皇の統帥権を侵すものだ**という**反対意見が起こった**（**統帥権干犯問題**）が、**浜口雄幸**内閣（1929-31）は反対を押し切ってこの条約に批准した。

以上より、X - 正、Y - 正の組み合わせになる①が正解である。

問 3 29 正解は③

難易度 ★★★★★☆

解説

- ① 誤 **天皇機関説**は、**美濃部達吉**（1873-1948）が唱えた、**法人**としての国家が**主権の主体**で、君主は**国家の最高機関**とする**憲法学説**である。1930 年代に入ると、**天皇機関説**は**国体に反する**という批判が高まった。1935 年、当時の**岡田啓介**内閣は二度に渡り、**国体明徴声明**を発表して**天皇機関説**を否定した。**滝川幸辰**（1891-1962）は、**京都大学**の**法学者**である。1930 年代に**思想統制**が進むなかで、**共産主義的**だとして、著書である『**刑法読本**』が**発禁**となり、**休職**に追い込まれた。
- ② 誤 **日本文学報国会**は、1942 年に**徳富蘇峰**（1863-1957）を**会長**として設置された、**戦争協力に動員する**ための**官製機関**である。軍部の**報道班員**として多数の**小説家**が**戦地**に赴き、**戦争を美化**する作品を書いた。
- ③ 正 1937 年から翌年にかけて起こった**人民戦線事件**では、**人民戦線**（**反ファシズム**を掲げる組織）の**結成**を企てたとして、**日本無産党**や**労農派**の**関係者**合計 500 名弱が**治安維持法**により**検挙**された。この事件で**検挙**された人物には、**労農派**であった**東京帝国大学**教授**大内兵衛**（1888-1980）が含まれていた。
- ④ 誤 **河上肇**（1879-1946）は、『**貧乏物語**』を**代表作**とする**経済学者**であり、**マルクス主義****経済学**を研究した人物である。「**実証的な古代史研究**の著作」である『**神代史の研究**』などを著したのは、**津田左右吉**（1873-1961）である。

以上より、正解は③である。

B

問 4 30 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

- I 第 1 次**近衛文麿**内閣（1937-39）は日中戦争開戦後の 1938 年に三次にわたる**近衛声明**を発表した。その中の、第 1 次**近衛声明**の一節に「**国民政府を相手とせず**」という文言が含まれていた。この結果、**和平解決**の道は閉ざされた。
- II 第 2 次**近衛**内閣（1940-41）の**松岡洋右**（1880-1946）**外相**が、**北方の安全**を確保した上で**東南アジア**への進出をすすめることを目的に、1941 年にソ連と**日ソ中立条約**を結んだ。
- III **日独伊三国同盟**は、1940 年に調印された。これに対抗して、**アメリカ**は**航空用ガソリン**やくず鉄・鉄鋼の

対日輸出を禁止する経済制裁^{せいざい}を行った。

以上より、年代順にⅠ（1938年）→Ⅲ（1940年）→Ⅱ（1941年）の組み合わせになる②が正解である。

問5 31 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

- a 誤 国民学校^{こくみんがっこう}は、中学校ではなく小学校が改称されたものである。1940年代初頭の総力戦体制構築に向けた動きの中、ナチスの教育制度を参考に小学校の改称・義務教育期間の延長・教科内容の変更が行われた。
- b 正 切符制^{きっぷせい}は、1938年の綿糸の割当表制度に始まり、1940年にマッチ・砂糖などの品目が追加された。その後、すべての日用品へ拡大された。
- c 正 1944年以降、日本本土への空襲^{くうしゅう}が激しくなると、地方の親戚のもとへ向かう疎開や、大都市の児童が集団で地方寺院などへ向かう疎開など、空襲から逃れる対策が取られた。
- d 誤 新婦人協会^{しんふじんきょうかい}は、1920年に平塚らいてう^{ひらつか}（1886-1971）、市川房枝^{いちかわふさえ}（1893-1981）らが設立した女性の参政を目指した女性団体である。女性を戦争に動員するため、諸団体が統合されてできたのは、1942年に設立された大日本婦人会^{だいにほんふじんかい}である。

以上より、組み合わせがbとcになる③が正解である。

問6 32 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 学校令^{がくせいのり}は、1886年に初代文部大臣の森有礼（1847-89）が制定した学校制度に関する法令の総称である。六・三・三・四の新しい学制^{がくせい}は、1947年に成立した学校教育法に規定されている。
- ② 誤 活動写真^{かつどうしゃしん}と呼ばれる無声映画^{むせい}は、明治時代に米・仏から輸入され、1899年に国産映画が初めて制作された。
- ③ 誤 GHQはプレスコード、ラジオコードなどで占領軍^{せんりょう}に対する批判を禁止し、各種検閲^{けんえつ}を行った。
- ④ 正 敗戦後の混乱の中、都市部の人々はバラック^{ぼうくうごう}や防空壕^{ぼうくうごう}で生活し、焼け跡での闇市^{やみいち}における取引や農村への食糧の買い出しが行われた。

以上より、正解は④である。

C

問7 33 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

- X 正 ソ連・ポーランド・チェコは、サンフランシスコ講和会議^{こうわ}に参加したものの、サンフランシスコ平和条

約には調印しなかった。中華人民共和国と中華民国は代表権の帰属問題のため共に招かれず、インド・ビルマ・ユーゴスラヴィアは不参加であった。

Y 誤 サンフランシスコ平和条約でアメリカの施政権下に置かれた小笠原諸島は、佐藤栄作内閣（1964-72）の下で1968年に返還協定が結ばれ日本への返還が実現した。

以上より、正解は②である。

問 8 34 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

- ① 正 日韓基本条約は、1965年、佐藤栄作内閣（1964-72）の時期に調印された条約である。この条約では、1910年の韓国併合に至るまでに結ばれた条約・協定の失効や外交関係の再開についての確認のほか、韓国政府を朝鮮における唯一の合法的な政府として認めることなどが定められた。これにより日本と韓国の間には正式な国交が樹立された。
- ② 正 日中共同声明は、1972年の田中角栄（1918-93）首相の訪中時に発表されたもので、中華人民共和国との国交は正常化したが一方で、日本と台湾（中華民国）は断交することとなった。
- ③ 誤 55年体制は、日本民主党と自由党の保守合同により結成された自由民主党と、左右両派統一が実現した日本社会党による二大政党中心の政治体制である。
- ④ 正 民主社会党は、1960年に日本社会党右派が分裂結成した政党、公明党は、1964年に創価学会を支持母体として結成された政党である。このように1960～70年代を中心に多党化現象が見られた。

以上より、正解は③である。

（制作：梶山真嗣，久米光仁）